

Takata, Koan.

324-11



天祖主神



13.1. ✓

削除

信神
忠孝
是我道

BL 2222

2

T 35

1937

Copy 1

Asian

Japan

Cage



LC Control Number



99 477303

あめのおほぢぬしがみ
天祖主神

(信神忠孝是我道)

高田 畊 安

序

神武天皇が皇國日本を御創立以來既に殆ど二千六百年、金甌無缺の歴史を有し、三大強國の列に達したる皇國は今や防共の爲に支那を討伐し、更に進んで他強國と戦はんとして居ります。戦争に必要なる武力金力心力中に就いて心力を強むる所あらんが爲に此の短

文ぶんを書かくことと致いたしました。

定てい義ぎ

天てんとは宇宙うちゅうをいふ。祖おぼぢとは吾人われらの本もと源ごをいふ。主ぬしとは宇宙うちゅうの領主りやうしゅをいふ。神かみとは至大しだいの權威けんみをいふ。古來こらい宇宙うちゅう即すなはち天てんを神かみの御座所みくらみと想おもひしに由より神かみを指さして天てんと稱なへました。古事記こじきに天神あまつがみと記しるせるは創化さうくわの三神しん即すなはち天あめの御中主神みななかぬしがみ、太神たかみ產靈神むすひかみ及かみ神かみ產靈神むすひかみを指さすのでありますれど、宇宙うちゅうの領主りやうしゅは唯一ただひひとりでありますから、天あめの御中主神みななかぬしがみを指さすと解かいすべきであります。他ほかの二神しんは恰あたかも頭首かしらに對たいする兩手りやうての如ごとき關係くわんけいと考かんがふべきであります。天あめの御中主神みななかぬしがみを簡單かんたんに天あめの主神ぬしがみと稱なふるを推獎すゐしやうします。天あめの主神ぬしがみは基德教きとくきやうの神かみと同一おなじで居ゐらせられま

す。基德教きとくきやうでは主神ぬしがみを天父てんぷ又はまた父神ちちがみと稱なへます。此この意義いぎを同時きゆうじに

言ひ顯あらはす爲ためには天あめの主神ぬしがみを天祖あめのおほぢぬしがみ主神ぬしがみと稱なへ奉たてまつるを最善さいぜんと考かんがへます。天父てんぶと天祖てんそは同意義おなじいぎであります。

日本精神にっぽんせいしんは隨神道じゆじんどう(かんながらみち)でありますして神かみに隨したがふ即ち神かみ意こころに隨したがふを事こととするのであります。其その神かみは八百萬やほゝよろづの神々かみがみの中の最上さいじやうの神かみなる天祖あめのおほぢぬしがみ主神ぬしがみである事ことを心得こころえて居ゐらねばなりません。天祖あめのおほぢぬしがみ主神ぬしがみに隨順奉仕ずんじゆんほうしする事ことは既に伊装那岐いざなぎの尊みことも天照大神てんせうだいじんも御實ごじつ行かうに成なつたのであります。又神武天皇またじんむも明治天皇めいぢも御信ごしん仰かうなされました。

信しんずる即ち信しん仰かうする事ことは人ひとが神かみに對たいする最善さいぜんの態度たいどであります。信しん仰かうとは神かみを崇あがめ敬うやまひ神かみの恩愛おんあいと權けん力りよくを認みめて之これに服從ふくじうし、奉事ほうじし且かつ運命うんめいを委託ゐたくするのであります。されば隨神ずじんは信しん仰かうの結果けつぐわであり

ます。抑も孝は父母に善く奉事するをいひ、忠は天皇に善く奉事するをいひ、信は神に善く奉事するをいひます。而して忠は孝の延長であり、信は忠孝の延長であります。如何なる事情あるも決して脱線してはならないのであります。

孝友の道

孝とは父母に善く事ふるをいひ、友とは兄弟に善く接するをいひます。孝行は縦の道徳であります。又交友は横の道徳であります。之を樹木に比すれば、孝道は根幹にして友愛は親善と成ります。之を樹木に比すれば、孝道は根幹にして友愛は枝葉であります。されば孝道を離れたる友愛は恰も根幹を離れたる

枝葉しえふの如ごとく枯死こしを免まぬかれないのであります。故ゆゑに吾人われらは隨神忠孝すゐしんちゆうかうに重點ぢゆうてんを置おき而そして之これを離はなれざる程度ていぎに於おいて交友いうかうを行おこなふべきであります。

マルクスの共産主義

皇國くわうこくは縦道たてのみちを重おもんじ、隨神忠孝すゐしんちゆうかうの道みちを進すすみ、其その範圍はんの内に於おいて夫婦ふうふ、兄弟きやうだい、朋友ほういうの交友いうかうを爲なすのであります。マルクスの共産主義きやうさんしゆぎは交友いうかうを專もつ一はらとして隨神忠孝すゐしんちゆうかうを度外さぐわいに置おくのであります。否いな寧ろむし之これを排斥はいせきするのであります。故ゆゑに人類じんるゐの爲ために其その有いう害がいなる事ことは極きくめて明あきらかであります。一家かは親心おやごころと孝心かうしんに由よりて幸福かうふくであり且かつ隆昌りゆうじやうと成なり、一國こくは君臣上下くんしんじやうかの大義秩序たいぎちつじよと父子ふし的親愛てきしんあいに由よりて幸福かうふくであり且かつ隆昌りゆうじやうと成なり又世界またせは天祖あめのおほぢ主神なしがみを畏敬ひけいする事ことに由よりて、和

氣藹々たる一家庭を結成する事となるのであります。然るに共産主義者は孝道を棄て、専ら友道に由らんとするのであります。から家庭でも國家でも世界でも平和が破壊せられ憎悪と鬭争が止まないのであります。

神性と人性と獸性

吾人は神の造りたまひし萬物中の靈長なる者であります。聖書に『神其の像の如くに人を創造したまへり、即ち神の像の如くに之を造り之を男と女とに造りたまへり』(創世記一の廿七)又『ヤーエー神土地の塵を以て人を造り生命の息氣を鼻へ吹き入れたまへり、斯くて人は活ける者と成りぬ』(同二ノ七)とあります。如く吾人は物質と靈魂より成つて居るのであります。而して人性が向上して神の靈

氣き即すなはち聖靈せいれいに満みつれば神性しんせいと成なり、之これに反はんして墮落だらくすれば聖靈せいれいを失うしな

ひ、獸性じうせいと成なります。獸性じうせいは肉慾にくよくを是こゝれ事こととするのでありまして、

或あるひは食慾じよくよくすなは、くちはら或あるひは食慾じよくよくすなは、くちはら或あるひは(色慾しきよく即すなはち口腹くちばらの慾よく)或あるひは(色慾しきよく即すなはち性慾せいよく)或あるひは肉體にくたい生せい存ぞん慾よく(即すなはち

生活せいくつよく慾よく)に驅使くしせらるゝのであります。又また神性しんせいは天祖あめのおほいぢ主神ぬしがみの御意みこころを

心こころとして、専らもっぱ聖意みこころの遂行すゐかうを是こゝれ事こととするのであります。克己こくき自制じせい

とは獸性じうせいを退しりぞけて、神性しんせいに歸きするをいふのであり又またいましめ(誠いましめ)は

獸性じうせいを束縛そくはくして、神性しんせいに叶かなふ道みちを歩あゆましむるものであります。

~~誠律かいらつを破やぶるマルクス主義しゆぎ~~

マルクスは人々ひとびとの解放かいほうと平等びやうきうとを叫さけびました。解放かいほうとは束縛そくはくを脱だつ

することであり、いましめを解とくことであり、誠律かいらつを撤去てつきよすること

であり、秩序ちつじよを認めぬことであり、克己こくき自制じせいを解消かいせうするのであり、

淫行を恣にするのであります。又肉慾を以て思慮なき人間を誘惑

して天祖主神に背かしむる事は恰もエデンにてエヴァを誘惑せし

蛇の如きであります(創世記三ノ一—廿四。曰く『蛇婦に云ひけるは

神眞に汝等園の諸の樹の果は食ふべからずと云ひたまひしや、婦

蛇に云ひけるは我等園の樹の果を食ふことを得、然れど園の中央に

在る樹の果實をば汝ら之を食ふべからず又之に捫るべからず、恐く

は汝等死なんと神云ひたまへり。蛇婦に云ひけるは汝等必ず死ぬる

事あらじ、神は汝等が之を食ふ日に汝等の目開け、汝等が神の如く

なりて善悪を知るに至るを知りたまふなりと。婦樹を見れば食ふに

善く、目に美しく且つ智慧からんが爲に慕はしき樹なるに由りて遂

に其の果實を取りて食ひ又之を己と偕なる夫に與へければ彼も亦食

へり』。

神性しんせいと永生えいせいを妨さまたぐる誘惑いうわく

マルクス主義しゆぎは私有財産しいうざいさんと私人しじんの特權さくけんを排斥はいせきし、同時ごうじに一切さいの財貨くわふびごち及土地ききょうちうを共有きよういうとして之これを以もちて各人かくじんを扶持ふじし且かつ各人かくじん平等べうさうと爲なさんとするのであります。従したがつて上下じやうかの別べつも男女なんによの別べつも無く孝行かうかうも忠義しんかうも信仰しんかうも無いのであります。一家かには階老同穴かいらうきうけつを盟ちかへる貞操純潔ていさうじゆんけつの夫婦ふうふを必要ひつえうと致いたしますが、彼ら男女なんによの離合りがふは甚はなはだ頻繁ひんぱんでありますして、『彼らは夕ゆうべに結婚けつこんして朝あしたに離婚りこんす』と嘲あざける者ものさへあります(彼らかれは甚はなはしく家庭かていを輕視けいしするのであります。彼らかれは黨員たうゐんを細胞さいぼうと呼び其その本部ほんぶをモスコウ市しに置いて各國かくこくの細胞群さいぼうぐんへ司令しれいするのであります。男女間なんにょかんの亂行らんぎやうと他人たにんの財産奪取ざいさんだつしゆを餌食えじきとして、思慮しりよなき人間にんげんを

黨員たうみんに引き入ひれるのであります。良民りやうみんが彼らかれの仲間なかまに引き入ひれら
 て無用有害むよういうがいと成なる事ことは恰あだかも一酸化炭素中毒さんくわたんそ ちゆうさくの如ごとくであり
 ます、即ちすなは
 酸素さんそを身體組織しんたいそ じきに運搬うんぱんの役目やくめを爲なせる赤血球色素せつけつきうしきそへモグロビンが、
 若もし火鉢ひばちの炭火等すみび なごの發散はつさんする一酸化炭素さんくわたんそに接觸せつしよくする時ときは之これと結合けつがふ
 てもはや酸素結合運搬さんそ けつがふ ounぱんの用ようを爲なさなくなるのであります。蓋けだし血色けつしき
 素そに對たいする酸化炭素さんくわたんその親和力しんわりよくは酸素さんそに比ひして二百五十倍強はいつよいからで
 あります。共產黨きやうさんたうは左様さやうに大おほいなる誘惑力いうわくりよくを持つて居ゐて到いたる所ところに病
 的現象てきげんざうを惹起じやくきするのであります。彼らかれには貞操ていさうなく、貞女烈婦ていじよれつぷなく
 純潔無垢じゆんけつむくなる處女しよじよなく、孝行かうかうなく、大義名分たいぎめいぶんなく、主神ぬしがみを畏敬おそする
 事ことが無いのであります(聖書せいしよに曰いはく『主ぬしを畏おそるは知識ちしきの本もとなり、愚おろか
 なる者ものは智慧ちゑと訓誨をしへとを輕かろんず』(箴言一ノ七)『神かみを畏おそるは智慧ちゑの

はじめ
初なり、神聖者に従ふは總明なり（同九ノ十）。

マイエルの所説

『共産主義は皆蒙昧なる空想を有すとの批難を受くるは當然である。彼らには人類の性質と健全なる國家經濟並に平和なる文化的社會の肝要なる根本に對して明了なる認識が缺けて居る。彼らには人類の眞の發動力と國家經濟の機關的構成に關する理解が缺けて居る。斯の機關的構成は國民の文化的生活と人性の文化的進歩の要約たりし者であつて又將來も其の要約と成るべきである。此の諸關係を全然誤解せるに由りて大なる錯誤に陥り、平等てふ根本的妄想に陥るのである。彼らは個人的満足の爲に並に個人及全體の精神的進歩の爲に個人運動の自由性と自己の地位に對する責任意識とが大

なる意義を有する事を識らないのである。彼らは私有財産及相續權の制度が各人修養發達の昂進の上へ、作業の勤勉及節儉心の上へ並に經濟的生活の不斷の進歩の上へ有益なる干渉を齎すを知らない。衣食住の最下級なる生活ならば各人の物質的平等を實行し得られる。共產主義の實行は凡有る人間を無産者（プロレタリア）の階級に引き下げ、國民に對して文化的生活及文化的進歩を制止するのである』（マイエル大百科辭典）。

勤檢の動機

富貴長壽は人の憧るゝ所であります。人は之を得んが爲に思慮し善行するを常とします。善行とは主神を畏れ、忠孝を盡し人を愛み、職務を勤勉し、物資を浪費せず、正直を守り、養生法に背かぬ

等らうであります。正直しやうじきにして勤勉きんべんか且つ節儉せつけんすれば其その努力ごりよくエネルギ一の結晶けつしやうとして資産しさんの生ずるを常つねとします。是れ恩賞おれしやうとして天てんより賦ふ與よせられたる所ところの者ものでありまして、決して他人たにんが其その所有權しゆいけんを犯おかしてはならないのであります。然しかるに共產黨きやうさんたうは之これを奪取だつしゆして分配ぶんぱいせんと欲ほつするから悪いわるのであります。曾かつて左さの如ごとき説せつを爲なした人ひともありません。

『其故當時それゆゑたうじ歐洲諸國おうしうしよこくに於おいて社會黨しやくわいたうの運動うんどうが漸やうやく有勢いうせいに成ならんとするや之これを嫌忌けんきすることも亦漸またやうやく激はげくなり、殊ことに其ちの分配論ぶんぱいろんを以もつて懶惰者だものの乞食根性こつじきこんじやうであるとの嘲罵てうはも歐洲人おうしうじんの間あひだには決して珍めづらしい事ことではなかつた』(石川三四郎社會主義篇、三宅雄二郎新日本史、昭和

二年再版)。

併しレーニンは『人もし働くことを欲せずば食ふべからず』(テサ

ロニケ後書三ノ十)とのパウロの言に基づき『働かぬ者は食ふな』を主張したと聞き及びました。

然しながら同主義者の勤勉は決して自ら楽しんで行ふに非ずして、威嚇されて働くのであらうと察せられま

す。彼らの間には威嚇や銃殺が頻りに行はれた事は周知の事實で

す。青年者が最初は甘言を以て党内に引き入れられますが、入黨後

には苦き経験を爲す様であります。

共産黨には富貴の以て人格向上を奨励する者が無いのみならず、

彼らは人世より全然富貴を解消するのであります。而して之に代つ

て出現するのは軋轢争闘であります又風俗の墮落悪化であります。

親心と孝心

世の中に親心と孝心より尊い者はありません。吾人は全く主神と
 天皇と父母の親心の御蔭で育てられ、生存して居るのであります。
 親が子を愛するは實に本能的でありまして、他の諸動物(獸、鳥、
 魚、蟲)にも子を愛すること自身を愛するが如く、否自己以上に之を
 愛して、其の子の爲には雷に勞苦を厭はざるのみならず、自己の危
 險を犯して之を防護することあるは周知の事實であります。人類に
 は本能と同時に理智の作用がありまして、更に有力なる援助を其の
 子に與へるのであります。親が其の子に期待する所は、自己の意志
 を繼ぎ、自己の業を完成し、自己以上に偉大なる作用を爲さんこと
 或は老後に援助を得ることでありまして、其の際親は恰も農夫が作
 物に對し、牧夫が家畜に對する打算的氣分を伴ふのであります。世

間の子らの中に其の親に對して孝行なる者の多ければ多い程親が其の子に對する樂い期待が多大有りまして、心を盡して自己の經驗と智識を之に傾注し或は資産を盡して其の發達を完成すべきであります。併し若し不孝なる者、父母に迷惑を懸ける者等の多い時は父母の愛育の熱心は冷却せられ、産兒や育兒を忌避する者も生ずべきであります。是れ人性及國家の爲に向上隆昌を阻碍することゝなりません。故に父母に孝行するは常に其の家庭に於ける善業であるのみならず、廣く人性の爲に功勳を立つることゝなるのであります。此の點から觀ましても共產黨は孝道を解消しますから人性の向上を阻碍すべきであります。

親が如何に深く其の子を愛する乎に就いては左の和歌が之を言ひ

顯あらはして居みます。

『世よの中なかに思おもひはあれど子こを戀こふる思おもひにまさる思おもひなきかな哉』

紀 貫 之

『子こを思おもふ親おやの重おも荷にの四よ手つてかしばしも休やすむ息いき杖つゑもなし』

『はへば立たて立たては歩あゆめの親おや心こころわれに寄より來くる年としは忘わすれて』

二 宮 尊 德

親おや心こころは殆ほとんど各かく動ごう物ぶつに本ほん能のう的てきに備そなりありますれど孝かう心しんは只ただ靈れい長ちやうたる

人じん類るゐに限りかぎて備そなはれる德とく性せいであります。故ゆゑに孝かうは人じん類るゐの一つの特とく徴ちゆう

とも認みとむべきであります。孝かうが如い何かに貴き要えうの德とく行かうなる乎かに就ついては

次つぎに列れつ記きします。

貴き要えうなる孝かう行かう

(二) 孔子曰く

『孝は徳の本なり、教の由りて生ずる所なり』(孝經)。

『父在せば其の志を觀、父没すれば其の行を觀、三年父の道を改むる無きを孝と謂ふべし』(論語一ノ十一)。

『今の孝は是れ能く養ふを謂ふ、犬馬に至るまで皆能く養ふことあり、敬せずんば何を以て別たんや』(同二ノ七)。

『吾が黨の直きは是に異なり、父は子の爲に隠し、子は父の爲に隠す、直きこと其の中に在り』(同十三ノ十九)。

『身體髮膚之を父母に受く、敢て毀傷せざるは孝の始なり。身を立て道を行ひ、名を後世に揚げて以て父母を顯はすは孝の終なり』

『夫れ孝は親に事ふるに始まり、君に事ふるに中し、身を立つるに

終るをたは』(孝經)。

(二) 醫蘇基德い えすきりすこパリサイ人じんらを責めて曰のたまはく『汝なんぢらは神かみの誠律いましめを棄てすて

汝なんぢらの傳説つたへを以て之これに代かへたり、例たとへばモーセ曰いはく『汝なんぢの父母ちちははを敬うやま

へ(註) またちまた又は父はは又は母ののしものを罵る者ののしものは死刑しけいに處せらるべし』と然しかるに汝なんぢらは云々うんぬん』

マルコ傳七ノ九—十一)。

(三) 明治天皇めいぢ てんわうの御製ぎよせいに曰のたまはく、

『むじらぎもの心こころつくして報むくいなん

あふしたてたる親おやのめぐみに』

『たらちねの親おやの心こころを慰なぐさめよ

國くにに務つとむるいとまある身みは』。

(四) 『汝なんぢは汝なんぢの父母ちちははを敬うやまふべし、是これ主ぬしなる汝なんぢの神かみが汝なんぢに與あたふる土こ

地に於て汝が長く生きん爲なり』(出エジプト記二十ノ十二は十誠中の第五條にして、道德律の第一であります(蓋し第一乃至第四條は神に關する宗教律です)。

(五) 佛陀曰く「世間、出世間の恩に四種あり、一には父母の恩、二には衆生の恩、三には國王の恩、四には三寶の恩なり』(心地觀經)。

(六) 孟子曰く

『大孝は終身父母を慕ふ、孝子の極は親を尊ぶより大なるはなし。』

(七) 明治天皇御製に曰く

『たらちねの親の御前に在りと見し

夢の惜くもさめにけるかな』。

(八) 明治天皇の勅語に曰く

『我が臣民克く忠に克く孝に億兆心を一つして世々厥の美を濟せ
 るは此れ我が國體の精華にして、教育の淵源も亦實に此に存す』

『爾臣民父母に孝に』あれ。

(九) 後漢書に曰く『孝は百行の本、衆善の初なり』

(十) 孝の字解に曰く

孝(カウ、ヨクおやニツカフ)は老と子との合字にして老は考(ち
 ち)なり、親の心を承け繼いで慎み行ふなり。又老は毛と人と倒さに
 書いたる人(即ち變化の化の字の本字)の象形の合字であり又子は頭
 の大きな子の象形である(高田忠周、大系漢字明解)。

信仰と忠孝の生活法一斑

(一) 天祖 主神に奉仕して瞬時も背くことなかるべき事。

(理由) 『忠臣は二君に事へず、貞女は兩夫に見えず』の語ある如く、吾人も常に天祖主神に奉仕するを要します。片時も心を他の諸神に向けて主神を忘ることがあつてはなりません。他の神々を禮拜する場合にも其の神々を透して主神を禮拜すべきであります。又祈禱は専ら主神に奉ぐべきであります。吾人は一生を通じて主神に密接して生活すべきであります。(二) 神教は最も進歩したる宗教であります。多神教は幼稚時代に屬します。汎神教(佛敎の如き)や無神教(唯物主義者、マルクスの如き)は現實活在し恩養しつゝありたまふ主神の御前に不敬罪を犯して居るのであります。

(二) 清氣を呼吸するを怠るべからざる事。

(理由) 呼吸は飲食よりも大切であります。其の呼吸は酸素を吸入
 すると共に炭酸と人毒(毒氣)を呼出する爲であります。呼吸は目に
 見えぬ大小便の如き不潔有害なる者であります。故に呼吸は直ちに
 之を遠ざけ、其の混じあらざる清氣を吸入せねばなりません。之が
 爲には空氣が常に流通するを要します。故に戶外に居る乎又は窓戸
 を多少開放せねばなりません。夜中にも寒中にも居室の二方面以上
 に空氣の出入口を開き以て戶外の新鮮なる空氣が入り、室内の不潔
 空氣が流出する様にせねばなりません。居室に居る人が多ければ、
 其れだけ空氣を多く汚しますから、換氣を増加せねばなりません。
 又喫煙する者があれば空氣は一層多く汚されます。又火鉢は恐るべ
 き一酸化炭素を多量に發散しますから成るだけ之を用ゐず、若し用

ゐねばならぬ時は炭火を成るたけ少なくし且つ窓を多く開いて換氣を促進せねばなりません。又瓦斯管より燃えぬ瓦斯が漏るゝことあれば矢張り一酸化炭素の中毒に陥りますから注意せねばなりません。又塵埃の飛散する場所では綿花を含めるマスクを製しまして之を以て鼻と口を覆ふて居れば害を免がれます。若しマスクのない時は綿花の小片を呼吸に障らぬ程度に兩鼻孔に挿入して居ても防げます。

(三) 禁酒禁煙を勵行すべき事。

(理由) 『惡小なるを以て爲す勿れ善小なるを以て爲ざる勿れ』てふ語がありますが隨神忠孝の人は必ず之を守らるゝ事と信じます。天祐神助は吾人に必要でありますが、眞心を以て神に奉仕すること

に由りて之を賜はるべきであります。敵に勝たんと欲すれば先づ己
 に克たねばなりません。アルコールもニコチンも麻酔薬であります
 す。慢性中毒に陥りたる者には興奮薬と成つて之を用ゐざれば作用
 し得ない者もあります。其は氣の毒の至りであります。殊にアルコ
 ールが健康を害し、心身の機能を害し、生命を縮め、家庭を害し、
 子孫を害し、社會を害し、國家を害することは極めて顯著なる事實
 であります。

附録

教育勅語と基督教の一致點及神武天皇

こ耶蘇基督の合一點の宣揚

(昭和六年十二月二十五日)

吾人は自分で自身を造つた事が無い、然れば他人より造られたのである。吾人を造りたまひし其の他人とは誰なる乎。其は造化の神である。天の美中主即ち天の父上である。

抑も吾人が父母に由りて生まれた事は周知の事實である。常に生れたのみならず、彼らより育てられた御蔭で今日斯く生きて居るのである。若し父母が吾人を愛育したまはなかつたならば、吾人は疾に既に死滅して居たであらう。吾人を育て上げんが爲に盡されたる

父母の勞苦は實に言語に絶する者があるのを常とする。故に子たる者は其の親に對して感恩尊敬奉仕するを當然の義務本分とする。

X

X

X

X

併しながら父母は吾人を生み且つ育てたまふたのであつて、造化したまふのではない。父母に由りて吾人を生み且つ育てたまふた御方は目に見えぬ天の父上である。天の父上こそ吾人の極めて眞實なる原因であり、親で在すなれ。然れば吾人は天の父上に最も深く感謝し、最も恭く尊敬し、最も忠實に奉仕せねばならぬ、天の父上は天地萬物と共に吾人を造化し、又古來數多の聖人賢人を通して永生的眞理を吾人に示された。人倫道德の原理を教へられた。四十年前に明治天皇が吾人臣民に賜はりたる勅語も亦其の一であつて、

これは番に日本人が守るを要するのみならず、萬國の人々も遵はねばならぬ性質の者である。

今教育勅語を萬國民的に解釋すれば『皇祖皇宗國を肇むる事宏遠に』とある其の皇祖皇宗は誰である乎と云ふに、從來普通の解釋では皇祖とは天照大神にして皇宗は神武天皇であるとして居つた。併し其は淺い考であつて、若し深く考へるならば天の美中主の神が皇祖であり、而して太神生靈と神生靈の二神が皇宗で居らせられねばならぬ。古昔周の人は文王を祖とし武王を宗と稱へたなれども、今日世界人は天地萬有を造化せし天の美中主即ち天の父上を皇祖とし其の御意を遂行せしロゴスを皇宗と稱ふべきである。ロゴスは陰陽の二勢力であつて聖子基督と聖靈であり、又の名は太神生靈と神生

靈ひである。

ヨハネは福音書ふくいんしょの冒頭はうとうに『太初はじめにロゴスありき、ロゴスは神かみと共に
 在ありき、ロゴスは神かみなりき。萬よろづの物もの之これに依よりて造つくらる』と書かいた。其そ
 のロゴスは陽性やうせいなる神かみの子こと陰性いんせいなる神かみの靈たまであらねばならぬ。又また
 太神生靈たかみむすひと神生靈かみむすひとであり、皇宗くわうそうであらねばならぬ。而しかして其その以い
 後ごに天てんの父上ちやうへの御意みこころを奉體ほうたいして國家こくかの經營けいえいに與あつかりし御方おかたは何れも
 皇宗くわうそうの延長えんぢやうに他ほかならぬのである。就中治者じゅうぢやうしやとして作用さようせられし伊裝いさ
 那岐なぎの尊みことや、天照太神てんせうたいじんや、神武天皇じんむてんわうや、明治天皇めいぢてんわう等は陽性やうせいの皇宗くわうそうで
 あり、又被治者またひせしやとして作用さようせられし八百萬神等やほむろづかみらは陰性いんせいの皇宗くわうそうである
 皇祖くわうそが天あめの美中主みなかみの神かみに在います事に就こいては建部文學博士たけべぶんかくはくしも同説どうせつで

ある。即ち彼は我が帝國發達の第一期を天之御中主の神の天地開闢
 と説き、次の如く論じた。『單に神武天皇以來を意味すると云ふやう
 に見ますならば』我が皇祖皇宗』と仰せられたる句を受けて『國を肇
 むる事宏遠に』と云ふ句を以て之を繼がせられてありますことが意
 義不通と成るのであります。』

X X X X X

皇祖を正確に認識する事は日本人刻下の急務である。天の父上即
 ち天の美中主即ち天地を造化したまひし神を神として崇拜するを要
 する。此の神は全世界の主であつて、萬國殊に文明人より崇拜せら
 れたまふのである。此の神は萬民に向つて『汝は我の他に神ありと
 すべからず。又受造物を神として拜すべからず』とモーゼの十誡に宣

言げんして居をられる。抑そもも人ひとに最もつも貴たふきは其その心こゝろであり、又また其こゝろの心こゝろに最もつも貴たふきは其その主しゆたる神かみである。然されば心こゝろの主しゆなる神かみは無む上じやう無む比ひ、眞しん實じつ、靈れい活くわつ、常じやう在ざいなるを要えうするは勿もちろ論ろんである。併しかし『受じゆ造ざう物を神かみとして
 拜はいすべからず』この意い義ぎを誤ご解かいしてはならぬ、蓋けだし其その意い義ぎは天てんの父ち
 上うへとして之これを崇すう拜はいし、之これに祈き願ぐわんし、之これに奉ほう仕しすべからずと云いふに在あ
 るのであつて、吾われ人は天てんの父ち上うへに全せん能のう至し愛あいの神かみとして禮れい拜はいし、祈き願ぐわん
 し、奉ほう仕しするのであるが、其その他たに或あるは君くん主しゆとして或あるは父ふ母ぼとして
 或あるは祖そ先せんとして或あるは恩おん人じんとして或あるは偉ゐ人じんとして、或あるは禮れい拜はいし或あるは奉ほう
 仕しする事ことは毫すこも妨さまたげないのである。殊ことに君くん主しゆや父ふ母ぼや上じやう司し等らは直ち接よくせつ
 又または間かん接せつに天てんの父ち上うへより權けん威ゐを受け其その意いを行おこなひこゝろなるが故ゆゑに、神かみ
 を崇すう拜はいする心こゝろに基もとづいて其その人ひと々々を敬うやままたこれこれに仕つかふべきである。又また其こゝろ

の人々の記念物例へば肖像に對して敬禮する事恰も生ける人に對するが如くするも妨ないものである。但し祈願は只天の父上に對してのみ爲すべきであつて決して其の他に向つて之を爲してはならぬ。

×

×

×

×

『汝臣民克く忠に克く孝に億兆心を一にして世々其の美を成せるは是れ我が國體の精華にして』とあるのも亦萬國民に通用するのであつて、忠孝の性行ある人は決して只日本にのみ實在せるに非ずして、世界到る處に其の實例を見出し得べきである。併し日本には只比較的多く其の實例があるのである。抑も文化が進歩して今日の域に達したのは人に忠孝の性質ありて父子君臣が相愛相傳したるを主要の原因とすべきであらう。就中孝に由りて意志と事業が繼續發達

し又忠またちゆうに由よりて偉大わだなる建設事業けんせつじぎふが成就じやうじゆする。凡およそ文化ぶんくわは作業さげふの蓄積ちくせきに基もとづき、作業さげふの蓄積ちくせきは忠孝ちうかうに基もとづくのである。若もしも忠孝ちうかうの美德びびなかりしならば人類じんるゐは野蠻やはんじやうたい状態たいに止とまつたであらう。

×

×

×

×

教育勅語けういくらふごの要領えうりやうは十ヶ條じふであつて、悉こころく基督敎キリストけうに應かなつて居をる而しかして一ひじつも愛神愛人あいしんあいじんの敎をしへに違たがふ所ところがないのである。愛あいを實行じつかうする爲ために寧むじろ最善さいぜんの方法はうはふと認みむべきである。抑そもそも愛あいを大別たいべつすれば二ふたつの種類しるゐがあつて、一ひじつは孝愛かうあい、他たは性愛せいあいである。忠愛ちうあいは孝愛かうあいに基もとづき、兄弟愛けいていあいも亦また孝愛かうあいより發生はつせいする。忠愛ちうあいと孝愛かうあいは縦線じうせんに位くらゐし性愛せいあいは横線わうせんに位くらゐして居をる。兄弟愛けいていあいは其その中間ちうかん約四十五度やくしよじゆごどの線せんに在あり。又聖人またせいじんや偉人わじんを愛あいするは兄弟線けいていせんよりも縦線じうせんに近ちかく而しかして朋友愛ほういうあいは兄弟線けいていせんと横線わうせんの間あひだに

位せりと考ふべきであらう。父子間の孝愛は精神的に知識能力希望
 等を生殖永續せしむる者であるが、男女間の性愛は主に肉體を生殖
 永續せしめるの用を爲すに過ぎない。猥りに性愛を高調して、却つ
 て孝愛を輕んずるのが近時の惡傾向である。之が爲に風俗の墮落惡
 化を招致して居る。之に反して孝愛を高調して性愛を低調に止むる
 のが基督教の本態である。教育勅語の本態も亦孝愛である事は「一
 旦緩急あれば義勇公に奉じ以て天壤無窮の皇運を扶翼すべし」の一
 句に於ても理解することが出来る。又勅語十ヶ條の聖訓を約むれば
 孝の一事に歸着するのである。實に孝は百行の本、萬善の本、人倫道
 徳の本である。耶穌基督は之を神の誠命なりと言はれた。勅語の終り
 に『威な其の徳を一にせんことを庶幾ふ』と仰せられたのは則ち吾人

が各孝行を怠らぬ様御勧めに成つたとも理解することが出来る。

孝心救世 (昭和五年十一月)

×

×

×

×

(一) 勅語煥發後

イエス降誕后

第三十回

世を救ふ道ぞ

斯の道は實に

普く世人を

四十周年

一九三〇

醫王祭にて

宣揚せらる

古今に通じ

活かす勢

(二)

帥ひきゐる君くん主しゆも俱ともに拳けん々けんし勅語ちよくごの要點かなめは神かみの命いひつけの幸福さいはひを享うけて天てんより賜たまひし事つかふる民たみも服膺ふくようすべき孝行かうかうに在あり敬親けいしんを守もり永ながく生いきな美よき地ちに於おいて

(三)

子こ女には父ちちと母ははの心こゝろ意いと生いの命のちの然されば兩親りやうしんは理り智ちに基もとづ喜よろこ樂びと成なり延えん長ちやうと成なる愛あい情じやうの他ほか其その子こ女にを育そだつ

知識經驗ちしきけんけんを
更に優すぐれたる

之これに傳つたへて
繼よつぎ嗣ぎを望のぞむ

(四) 育いく兒じに勞らう苦くを

惜をしまぬ親おやは

恰あだかも農のう夫ふが

作さく物もつ育そだて

牧ぼく者しゃが家か畜ちくを

育そだつる如ごとく

其その守しゆ護ごの神かみの

役やくを演えんせり

刹せつ那なの愛あい情じやう

未み來らいの期き待たい

其その兒こに集しふ注ちゆう

するにあらずや

(五) 神かみを信しんせざる

唯ゆみ物ぶつ主しり義ぎよ

(六)

親おや子こ相あ愛いは
 假かりに除ぞり脱だき
 本ほん能のう的てきなる
 父ちち母はは慕したふは
 子こを愛いつくしむは
 天てん則そく眞しん理りは
 其それらの例ためし證しは
 祖そ先せんに不ふ孝かうの
 凡すべて不ふ孝かうなる
 親おやに孝かう行かうの

幸さい福はひの根も本とは
 思おも考ひみよか
 其その性せい情じやうを
 兒こ童どもの心こころ
 親おやの天てん性せい
 日ひの如ごと光ひかる
 眼め前まへに在あり
 國くには衰おとろふ
 者ものは榮さかえず
 利り益えきを悟さとれ

人 文 發 達

茲に湧き出づ

×

×

×

×

教育勅語の歌

(昭和五年十月三十日)

(一) 皇祖主神は

宇宙を造り

萬有を理め

生命を賜ふ

皇國の肇

宏くて遠し

神の御徳は

深くて厚し

國家を建つるに

基礎を要す

帝國の基礎は

宏くて深し

(二)

皇祖くわうそとは天あめの

實中みなか主神ぬし

皇宗くわうそうは太神たかみ

生靈ひすひの尊みこと

神かみ生むす靈ひ尊みこと

いざなぎ尊みこと

天てん照せう太神たいじん

にぎの尊みこと

神武じんむ天皇てんわうや

應神おうじん仁德にんとく

今いまより仰あふげば

明治めいし天皇てんわう

(三)

吾われ儕ら國くに民たみは

忠孝ちうかうを以もて

主神ぬしに事つかへ

此この世よを救すくふ

億兆おくてうの意こころ

忠孝ちうかうに在あり

忠孝ちうかう一いつ心しん

代々よよを貫つらぬく

其その美うらほしさよ
朝日あさひに匂におへる

何なにに比たじへん
花はなに優まさりぬ

(四)

父ふ母ぼ又また祖そ先せんに
兄けい弟ていに對たいし
夫ふう婦ふの間あひだに
朋ほう友いう信しん義ぎを
斯この四よつの事ことを
平やす安きと幸さち福ちとの

孝かうをを行おこなひ
友いう悌ていの愛あい
禮れい和わを保たもち
相あひ守まもれか
行おこなふてこそ
有たもたるゝなれ

(五)

神かみを畏おそれつゝ

節せつ約やくを爲なし

(六)

勉め勵みつゝ

學業を修め

公益事業を

憲法規律に

國難起らば

是らの教訓は

天の父上の

御訓の數は

之を約むれば

主神に孝を

博愛を爲せ

知能を進め

隆昌ならしめ

背くことなく

勇みて防げ

不朽の眞理

御示なり

十箇條なれど

只一つのみに

行ふ一事

孝行は實に

萬善の本

×

×

×

×

今より神武天皇と耶蘇基督の合一點を述べれば、兩者共に天皇即

ち基督で居らせられ、救世主で居らせられ、天下萬民を恐るべき惡

むべき罪惡より救ふて正義と仁愛に由りて生活するを得しめたまふ

御方である。萬物は陰陽兩性の電子即ちエレクトロンとプロトンよ

り構成せられある如く、萬民を救ふ基督も政治と宗教の兩方面の勢

力より成り、就中政治方面は神武であり宗教方面は耶蘇である。神

武及其の皇室は天の父上の正義を遂行し、又耶蘇及其の弟子は神の

仁愛を遂行して救世の職分を完うするのである。抑もイエスとはへ

ブル語のイエシユア又エホシユア又ヨシユアと同語であつて『ヤー

エーは救である』てふ意義であるがマタイ福音書第一章二十一に
 據れば『彼は國民を罪より救ふ』からイエスと名づけたのである。則
 ち耶蘇は民衆を罪惡より救ふ救主であつて宗教上の基督である。人
 類を善に化し且つ安心せしむるには宗教上の權威を要する如く、善
 人義人を守りて平和幸福ならしむるには政治上の基督を要する。古
 來耶蘇が救世主基督である事は廣く認められてあるが、神武天皇及
 其の皇室が政治的救世主なる事に就いては未だ世間に知れ渡つて居
 ない。故に之を宣傳する必要が大である。其の宣傳は餘り困難でな
 い、蓋し聖書と歴史が之を證明して居るからである聖書は廣く世界
 の人々の心中に恰も車の軌道の如く布かれてあるから、其の上を通
 りて普く全世界に政治上の基督が宣傳せられ得るのである。

扱まて聖書中の大預言者なるイエサヤが神武天皇及其の皇室及皇
 國の任務並に帝國と世界の運命に就いて、其の第九章一乃至六節並
 に第十一章一乃至九節に於て預言して居る。抑もイエサヤは紀元前
 七百四十年乃至七百〇一年ユダヤの首都エルサレムに於て、神ヤ
 ーエー即ち天の父上の御啓示即ちインスピレーションを受け、幻想
 即ちヴィジオンを感じて神の御意志と御計畫を言ひ顯はしたのであ
 る。彼の傳へし所は今日に至るまで神の言と信せられて居る。彼の
 名イエサヤの意義は『ヤーエーの救』である。又ヤーエーとは『我われで有あ
 る』又は『常に在るところの者』の義である。此のヤーエーの御名はシ
 ナイ山ざんに於てモーゼの間に對してアブラハムの神なるエルシャダイ
 (全能神)が自ら示したまひし所である。故にイエサヤとは『神の救』

又は『天佑』といふことになる。イエサヤの預言は明かに日本帝國に
 對し及全世界に對して天佑である。イエサヤは敬神愛國の念の極め
 て深い人であつたが、其の預言の必要に迫られた原因の主要なる者
 は第一ユダヤ人の道德的頹廢であり、第二諸外國殊にアツスリヤ帝
 國の脅威であつた。其の頃ユダヤ國では神殿に祭典を行ひ供物を獻
 ずる等の宗教形式は可なり盛んであつたが、道德的生活を實行する
 者が少なく、奢侈に流れ、賄賂が行はれ、貧者、弱者、寡婦等の爲
 に正しき審判を下されざる情況であつた。故にイエサヤは神の正義
 にして、仁慈に居らせらるゝを説き、神に事ふるには德行を最も必
 要とする旨を説いた。

×

×

×

×

又當時またたうじのユダヤと外國ぐわいこくとの關係くわんけいを略述りやくじゆつすれば、東方とうほうにアッスリヤ帝國ていこくあり、西方せいほうにエジプト帝國てうこくあり、北方ほくほうに北朝ほくてうなるイスラエル王國わうこくあり、又其またその北きたにアラム即ちスリヤ王國すなはあり、南方なんほうにはペリシテ、エドム、モアブの諸王國しよわうこくあり。紀元前七百三十五年きげんぜんにはスリヤとイスラエルの二國連合こくれんがふしてユダヤを攻め、ユダヤ王アハスはアッスリヤに援を乞ひしに由り、アッスリヤはアラムを攻めて之を滅ぼし、而して其の餘勢はイスラエル、ユダヤ及ペリシテをアッスリヤの屬國と成して了つた。同二十五年ユダヤ王ヒスキヤはペリシテと戦ひ勝つた。又同年イスラエル王はアッスリヤに叛き之が爲に三年間攻圍せられて、同二十二年遂にアッスリヤの滅ぼす所と成つた。又同七百〇五年ヒスキヤ王はイエサヤの諫を聽き入れずしてエジブ

トと結びアッスリヤに叛いた。同四年アッスリヤ帝サンヘリブはバ
 ビロンと戦ひ克ちたる後、同一年エジプトに向つて進軍し、ユダヤ
 の諸都市を攻め陥した。ヒスキヤ王は莫大の償金を拂つて媾和せざ
 るを得なかつた。其の際曾てソロモン王の建てた神殿を飾りありし
 黄金を盡く剃ぎ取り、辛うじて償金を調へ得たのであつた。其の後
 間もなくイエルサレムは再びアッスリヤ軍の圍む所と成つたが、奇
 跡的に敵は退却して其の難を免れたのであつた。多分アッスリヤ軍
 がエジプト軍との劇戦の爲に多數の死傷者を出したると疫病の發し
 たるに原因したのであらう。イエルサレムを包圍せし敵軍の俄に退
 却したるを見てイエルサレムの住民は非常に喜び飲んだり食つたり
 して大祝した。併しイエサヤはユダヤ人に愛想を盡かし『不心得者

らが皆死ぬる迄は神の御赦が無いであらう』と其の第二十二章に豫言して居る。

×

×

×

×

略ぼ其の頃に記されたイエサヤの豫言が第九章一乃至六と第十一章の一乃至九等である。就中第九章は暗黒に苦惱せる國民に光明が照り出でて自由と平和の大なる歡喜に接すべき事と、正義を事とする理想的の皇と皇國が勃興して永遠に達すべき事、就中其の皇の名は神武であつて、政治的基督なるダビデ王の後繼者たる事等を言明し、又第十一章は聖靈に満ちたる理想的の王がダビデ王國の倒された後に勃興して萬民に完全なる平安を得せしむべき事を説いたのである。右は何れも豫言者の他の部分と異ふて、同書の前後的の關連

もなければ又ユダヤの歴史と合致する所も無いから、少なからず疑惑せられて居たのであるが、之を日本の歴史に照らす事に由りて初めて明確なる解釋が可能と成つたのである。

×

×

×

×

抑も人は萬物の靈長であつて宇宙間に最も尊貴なる者であるが、

其の人間よりも尊い者がある。夫は勿論天の父上で在ますが、夫は

論外として、人間よりも尊貴なる者は國家である。國家は個人の集

合體であるから、個々の人間よりも尊いのである。故に古來人間は

國家の爲に犠牲と成るを當然の義務本分と心得て居る。我が邦王政

維新以前には六十有餘の大名が各其の國を支配し而して其の武士

は皆其の君國を中心としての生活を爲した。然るに明治の初年以來

政權は皇室に復歸し、全國が皇室を中心として統一せられ、従つて
 平和と幸福と文化は長足の進歩を爲して、世界の一等国と成り、又
 海軍力に於ては英米に次ぐ第三位を占むる事と成つたのである。是
 れ同心協力に由りて能力と幸福の増進する事の著き實例である。
 然れば現今地球の表面に分立せる六十有餘の國家が、若し基督に由
 りて統一せらるゝならば、世界全人類の平和、幸福、文化の増進す
 る事の甚だ顯著なるべきは毫も疑ふの餘地がないのである。近年交
 通機關は陸上、海上、空中共に非常に發達したるが故に、萬國恰も
 比隣の如く又或點に於ては一家庭の如く成つた。斯る情況であるか
 ら政權の統一の必要が迫つて來た。國際的統一的規約は段々増加し
 て、國際公法、赤十字條約、世界郵便同盟、不戰條約、國際聯盟等

あり、其の他諸種の國際的會合が頻りに開催せられつゝある。故に
 正義を事とする基督が全世界の平安を確保するの時期は決して遠く
 なからうと信ぜられる。此の時代に生活せる日本人は正義と平和を
 擁護する使命を自覺し、神國の實現の爲に盡瘁する事、彼の明治維
 新當時の志士に劣らぬ様、大に奮勵努力せねばならぬ。

×

×

×

×

此の世界的大運動の第一歩として吾人は我が同胞より迷信と不信
 を驅除し之を聖別せねばならぬ。聖別せられたる人は至誠眞實の心
 を以て神聖全能なる神を畏れ又常に感恩しつゝ極めて忠義に神に奉
 仕すべきである。抑も人は天の父上に順孝なるを以て其本分とする
 又人を愛するは之を神の孝子と成らしむるに如くはない。故に先づ

其の生來の盲者たる不信仰者又は唯物思想者の眼を開いて、最も有
 り難い天の父上を拜せしめねばならぬ。又獨一の神であり主である
 天の父上に不敬罪を犯しつゝある迷信者の偶像崇拜を制止し之を悔
 改めしめ而して衷誠を以て神靈と交通し得せしめねばならぬ。日本
 人は本來至誠敬神を最も尊重し隨神の道を辿りて今日に至つたので
 ある。然れば今一段の進歩を爲し、明治天皇が明治元年三月十四日
 に詔告したまひし御誓文の第四項なる『舊來の陋習を破り天地の公
 道に基くべし』又其の第五項なる『智識を世界に求め大に皇基を振起
 すべし』この御趣旨に従ひて今日の日本人は迷信と不信を一掃して
 皆天の父上に忠孝なる奉仕を勵み又神の言なる聖書に基いて大に皇
 基を振起すべきである。

昭和十二年十二月二十日印刷
昭和十二年十二月二十五日發行

定價參拾錢

著述兼
發行者

東京市麴町區九段四丁目十五番地

高田 畊安

印刷者

東京市本郷區駒込林町百七十二番地

柴山 則常

發行所

神奈川県高座郡茅ヶ崎字南湖

南湖院

發賣所

東京市京橋區銀座西八丁目九番地

警醒社

電話銀座千五百八十七番
振替東京 五百五十三番

LIBRARY OF CONGRESS



0 020 208 745 0